

2022年3月期（4-3月） 決算説明資料

酒井重工業株式会社

証券コード 6358

URL <https://www.sakainet.co.jp>

2022年5月12日

決算短信（サマリー情報）

1. 2022年3月期の連結業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

（1）連結経営成績

（百万円未満切捨て）
 （％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭	％	％	％
2022年3月期	26,599	23.0	1,383	97.3	1,407	113.6	1,427	—	336.87	6.3	3.9	5.2
2021年3月期	21,824	△4.9	701	△26.9	659	△20.6	4	99.1	0.93	0.0	1.9	3.2

（注）包括利益 2022年3月期 2,022百万円（402.7％） 2021年3月期 402百万円（－％）

（参考）持分法投資損益 2022年3月期 ー百万円 2021年3月期 ー百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2022年3月期	37,858	23,161	61.1	5,489.91
2021年3月期	35,101	22,038	62.7	5,100.49

（3）連結キャッシュ・フローの状況

営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
百万円	百万円	百万円	百万円
2,359	△263	△1,227	7,926
1,525	△508	△812	6,847

（参考）自己資本 2022年3月期 23,113百万円 2021年3月期 21,997百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2021年3月期	—	30.00	—	50.00	80.00	345	8,802.2	1.6
2022年3月期	—	60.00	—	105.00	165.00	694	49.0	3.1
2023年3月期（予想）	—	80.00	—	85.00	165.00		73.6	

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	14,000	7.8	650	△10.4	625	△14.7	400	△21.4	94.41
通期	29,300	10.2	1,500	8.4	1,450	3.0	950	△33.4	224.22

連結業績ハイライト

1. 業績の概要

- 1) 連結売上高： 26,599百万円（前年比 23.0%増）
 - ・激動する世界情勢の中で、世界の建設機械需要は回復基調に推移
 - ・海外売上高は前年比43.4%増の12,306百万円（海外売上比率46.3%）
- 2) 営業利益： 1,383百万円（前年比 97.3%増）
- 3) 当期純利益： 1,427百万円
 （北米子会社で繰延税金資産381百万円計上、ROE6.3%）
- 4) 配当金： 1株当165円（配当性向約5割、予想比15円増配、前年比85円増）

2. 主要な地域別売上高

- 1) 国内向け売上高： 14,292百万円（前年比 9.6%増、国土強靱化により公共工事堅調）
- 2) 北米向け売上高： 5,039百万円（前年比 55.3%増、建設投資拡大による需要急回復）
- 3) アジア向け売上高： 6,492百万円（前年比 33.7%増、インドネシア市場でも需要回復）

連結業績ハイライト

3. 事業環境変化対応

1) 原材料及び物流費高騰

約 5 億円の原価上昇見通しに対し、販売価格改定と物流効率改善により影響緩和

2) サプライチェーンの混乱

調達体制及び製販連携強化による製品供給力の強化

3) 東証プライム市場上場

- ・上場維持基準適合に向けた計画書提出（期末流通株式時価総額85億円、PBR0.6倍）
- ・事業成長と資本政策の二本柱の経営への転換
- ・5ヵ年中期経営方針策定（売上高300億円、営業利益31億円、ROE 8 %、DOE4%）

4) ESG経営体制づくり

- ・国内工場CO2排出量50%削減。CN委員会設置とTCFD開示体制準備中。
- ・社外1/3の取締役会体制、指名報酬委員会設置、女性取締役候補選出、スキルマトリックス策定
- ・ESG説明会の実施

5) 需要変化対応力強化

棚卸資産7,207百万円 （棚卸回転数は0.6回増の3.69回）

連結業績ハイライト

4. 中長期成長戦略

- 1) **アジア市場深耕** インドネシア拠点を中核としたASEAN市場拡大。
- 2) **海外事業領域拡大** 道路維持機械の海外市場展開。
- 3) **北米市場開拓** ニッチマーケティングによるシェア拡大。
- 4) **次世代事業開発** 緊急ブレーキ、転圧管理システム、自律走行式ローラ。

5. 事業環境見通し

- 1) **国内**
総額15兆円の防災・減災、国土強靱化の為の5カ年加速化対策を背景に堅調な常陽環境が継続。
- 2) **海外**
米国では総額1兆2千億ドルのインフラ投資計画、ASEANや新興諸国でもインフラ投資拡大による景気対策など、海外建設機械需要も底堅い回復基調に推移するものと期待される。
- 3) **リスク**
益々加速する脱炭素政策や世界経済のブロック化の影響として、エネルギー・部材価格の更なる上昇や、グローバル・サプライチェーンの再編圧力が強まるものと予想される。

連結業績

(単位：百万円)

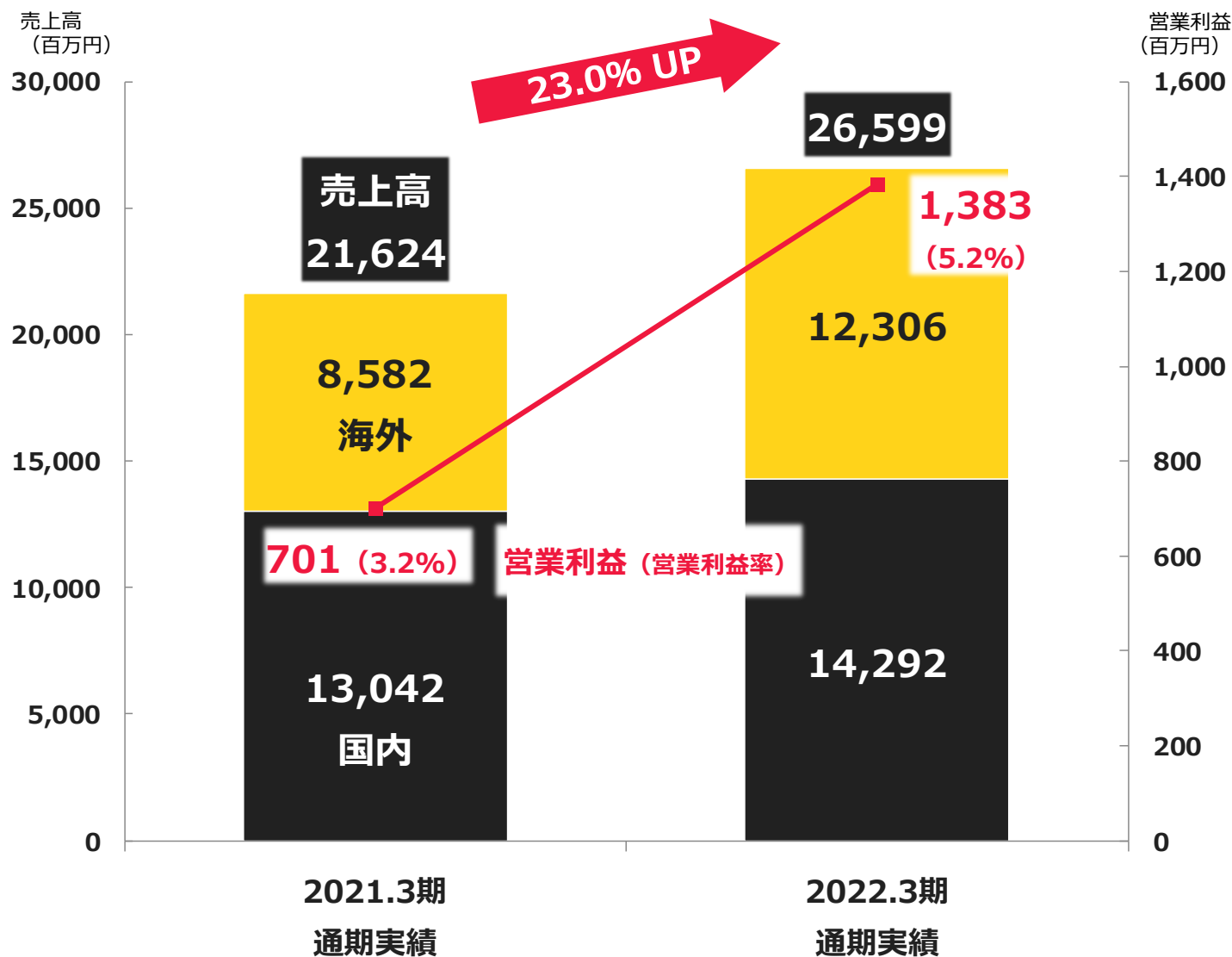
	2021.3期 通期実績	2022.3期 通期実績	前年比	
			増減額	増減率
売上高	21,624	26,599	4,974	23.0%
国内	13,042	14,292	1,249	9.6%
海外	8,582	12,306	3,724	43.4%
営業利益	701	1,383	682	97.3%
(営業利益率)	(3.2%)	(5.2%)		
経常利益	659	1,407	748	113.6%
親会社株式に帰属する 当期純利益	4	1,427	1,423	－%

(原価率)

(75.0%)

(75.9%)

連結業績（グラフ）



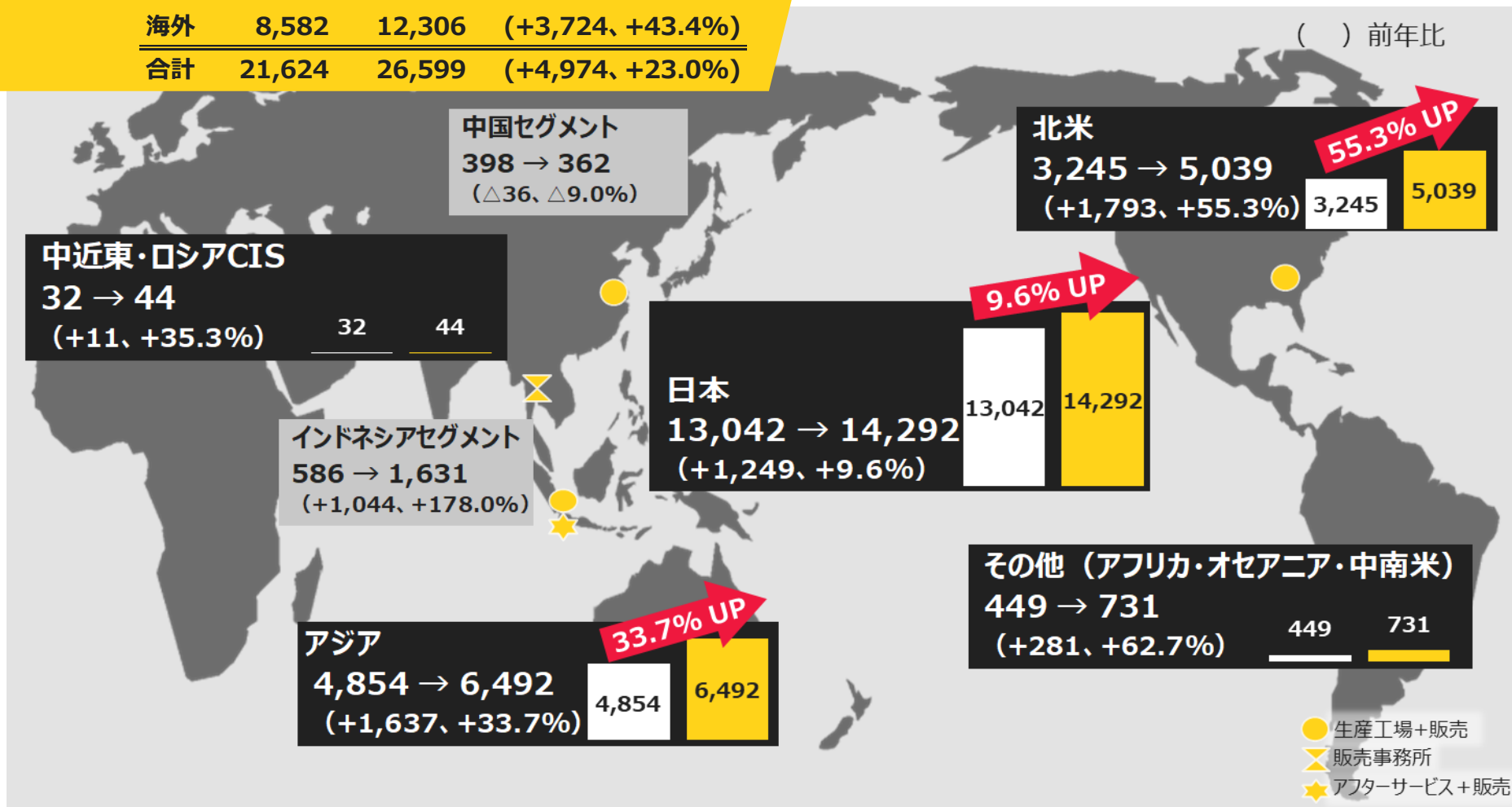
地域区分別売上高（顧客の所在地別に分類）

（単位：百万円）

	2021.3期 通期実績	2022.3期 通期実績	前年比	
			増減額	増減率
国 内	13,042	14,292	1,249	9.6%
海 外	8,582	12,306	3,724	43.4%
北米	3,245	5,039	1,793	55.3%
アジア	4,854	6,492	1,637	33.7%
中近東・ロシアCIS	32	44	11	35.3%
その他	449	731	281	62.7%
合 計	21,624	26,599	4,974	23.0%

地域区分別売上高（地図）

(単位：百万円)	21.3期 通期	22.3期 通期	前年比
国内	13,042	14,292	(+1,249、+9.6%)
海外	8,582	12,306	(+3,724、+43.4%)
合計	21,624	26,599	(+4,974、+23.0%)



所在地別セグメント（当社の生産・販売拠点別に分類）

（単位：百万円）

日 本	2021.3期 通期実績	2022.3期 通期実績	前年比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	17,394	19,566	2,172	12.5%
内部売上高	1,110	1,801	690	62.1%
総売上高	18,505	21,367	2,862	15.5%
営業利益	739	884	144	19.6%

（単位：百万円）

北 米	2021.3期 通期実績	2022.3期 通期実績	前年比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	3,245	5,039	1,793	55.3%
内部売上高	27	45	18	66.6%
総売上高	3,272	5,085	1,812	55.4%
営業利益	0	328	327	－ %

（単位：百万円）

インドネシア	2021.3期 通期実績	2022.3期 通期実績	前年比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	586	1,631	1,044	178.0%
内部売上高	2,409	3,527	1,118	46.4%
総売上高	2,996	5,158	2,162	72.2%
営業利益	17	274	256	－ %

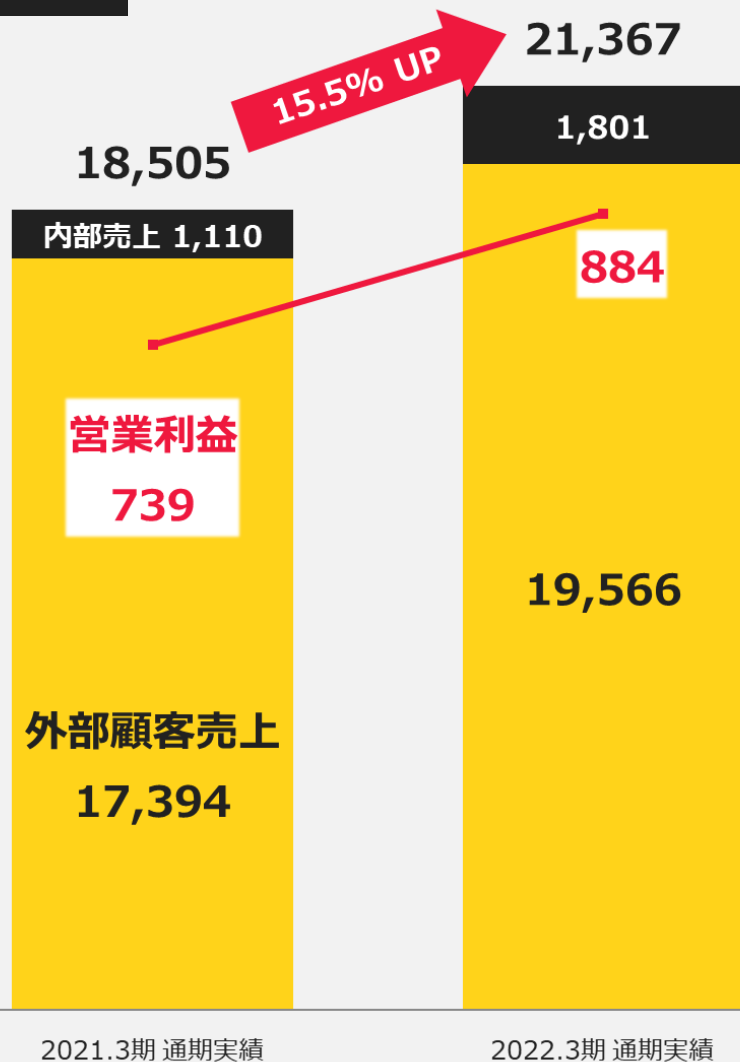
（単位：百万円）

中 国	2021.3期 通期実績	2022.3期 通期実績	前年比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	398	362	▲ 36	▲ 9.0%
内部売上高	333	611	277	83.0%
総売上高	732	973	241	32.9%
営業利益	▲ 82	▲ 79	2	－ %

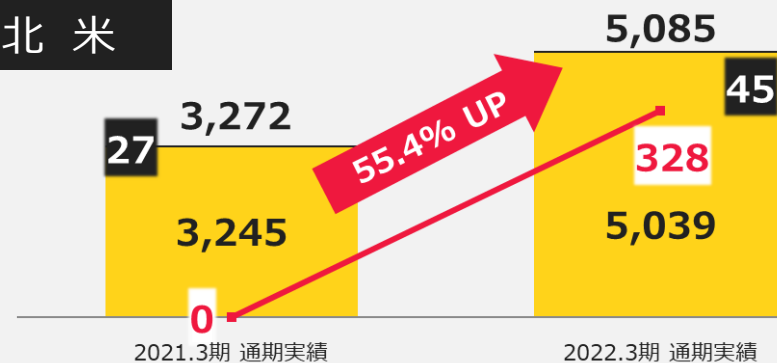
所在地別セグメント（グラフ）

（単位：百万円）

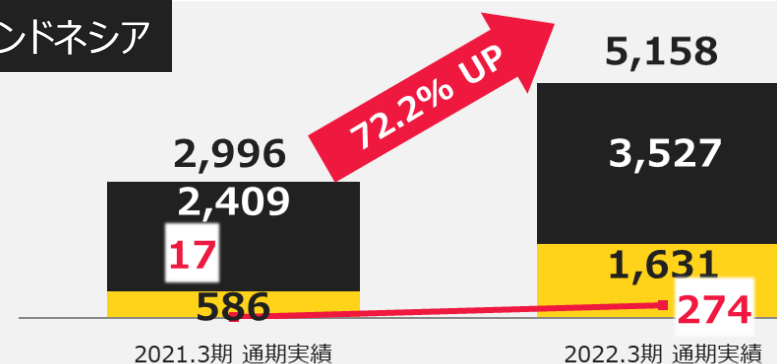
日 本



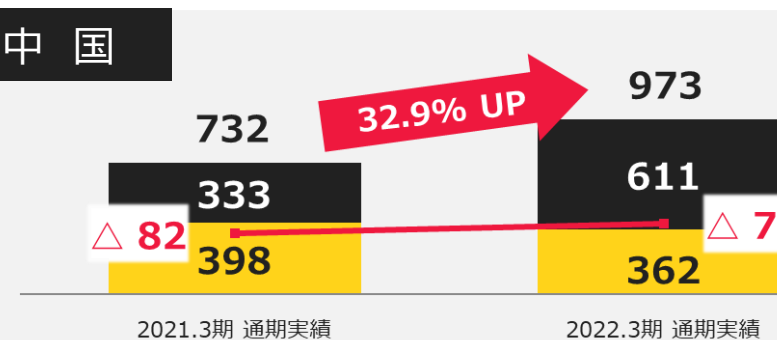
北 米



インドネシア



中 国



営業利益 増減要因

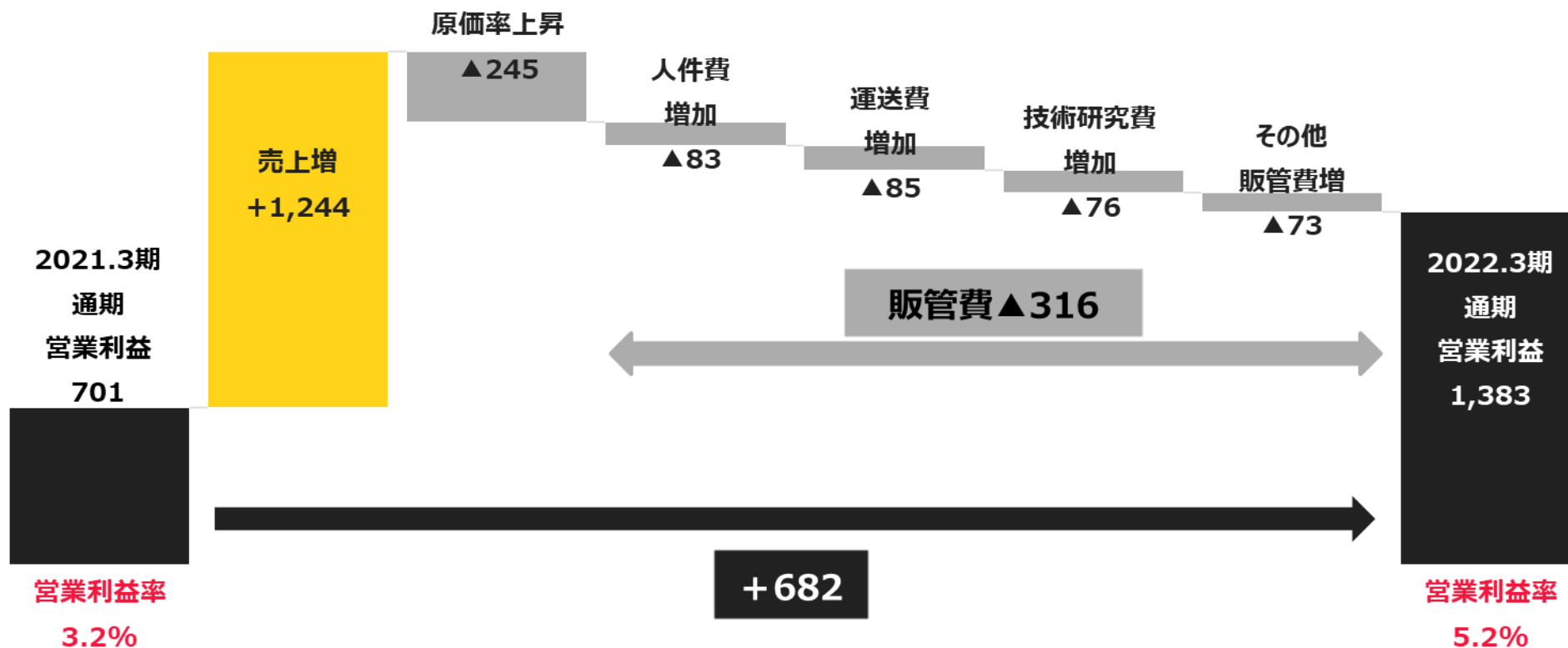
- 売上高を前年比4,974百万円増加させた結果、売上総利益は1,244百万円の増加
- 約5億円相当の原価上昇見積もりに対して販価改定と物流効率化の結果、原価率は0.92%上昇し、売上総利益は245百万円の減少
- 行動制約から事業活動再開に伴い、販管費は316百万円増加
- 結果として営業利益は、前年比682百万円増の1,383百万円

(単位：百万円)

	2021.3期 通期実績	2022.3期 通期実績	増減	営業利益への 影響額	備 考
売上高	21,624	26,599	4,974	+1,244	4,974 x (1 - 75.0%)
(原価率)	75.0%	75.9%	0.92%	▲ 245	26,599 x 0.92%
売上総利益	5,408	6,407	998		
販管費	4,707	5,023	316	▲ 316	人件費+83、運送費+85 技術研究費+76、その他販管費+73
営業利益	701	1,383		+682	

営業利益 増減要因 (グラフ)

(単位：百万円)



正味運転資本推移（売上債権＋棚卸資産－仕入債務）

- 営業活動に投下する正味運転資本は、前期末比542百万円減の9,779百万円に圧縮
- 棚卸資産は、売上高23%増ながら前期末比157百万円増の7,207百万円に抑制
- 売上高/棚卸資産回転数は、前期末比0.62回改善の3.69回に向上

（単位：百万円）

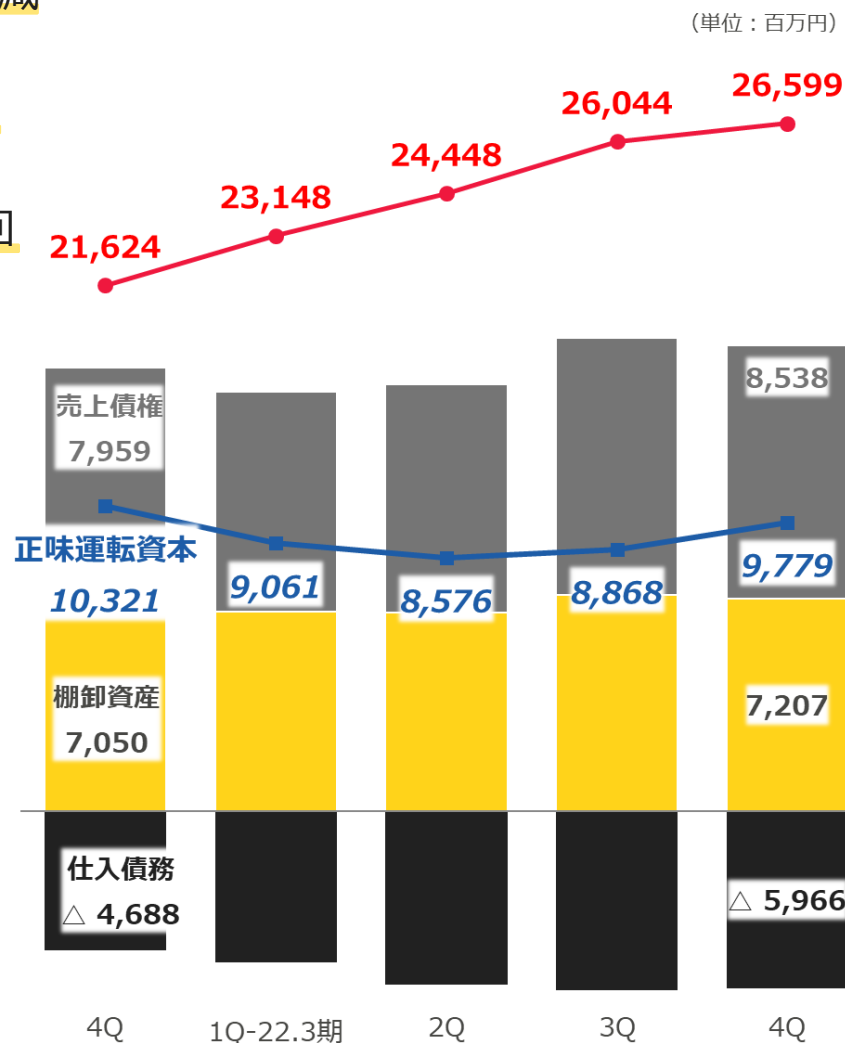
	2021.3期	2022.3期	前年比	
	通期実績	通期実績	増減額	増減率
連結売上高（年計）	21,624	26,599	4,974	23.0%
売上債権	7,959	8,538	579	7.3%
棚卸資産	7,050	7,207	157	2.2%
仕入債務	▲4,688	▲5,966	▲1,278	27.3%
正味運転資本	10,321	9,779	▲542	▲5.3%

棚卸回転数

3.07回

3.69回

0.62回



連結業績の予想

- 世界的にインフラ投資が拡大する中、世界の建設機械需要は底堅い回復基調
- 更なる部材価格上昇とサプライチェーン見直し圧力の高まり
- 価格改定とコスト低減、製品供給力強化による収益構造改革を推進
- 当期純利益は、一過性の繰延税金資産計上381百万円が剥落

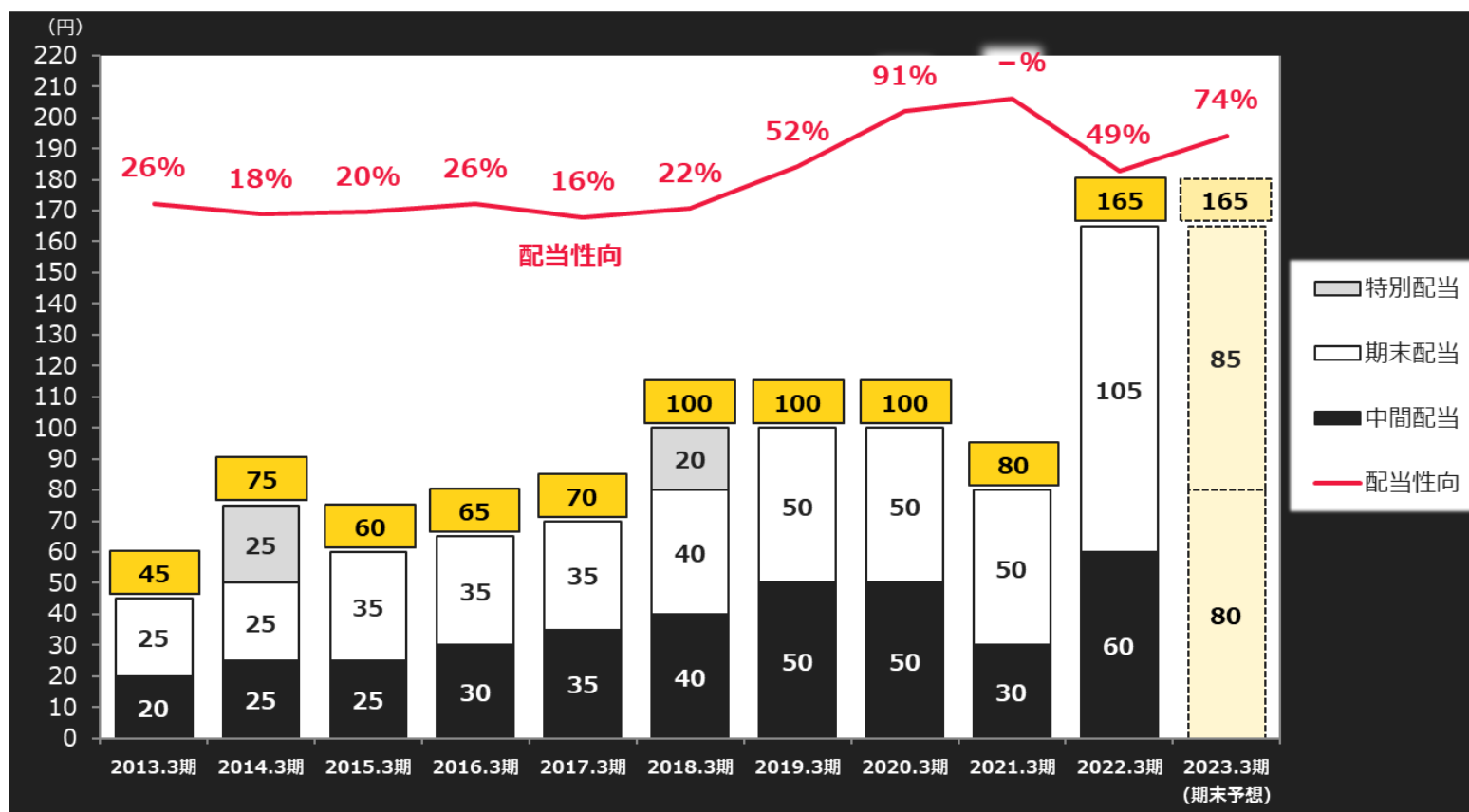
(単位：百万円)

	2021.3期 通期実績	2022.3期 通期実績	2023.3期 通期予想	前年比	
				増減額	増減率
売上高	21,624	26,599	29,300	2,700	10.2%
営業利益	701	1,383	1,500	116	8.4%
経常利益	659	1,407	1,450	42	3.0%
親会社株主に 帰属する当期純利益	4	1,427	950	▲ 477	—
1株当たり純利益	0.93円	336.87円	224.22円	▲ 112.65	—

配当金の状況

2021年6月2日の『中期的な当社経営方針』発表以降、ROE 8 %を目標として、次の配当方針を掲げております。

- ROE 3 %を下回る場合：配当性向100%の還元
- ROE 3 %～ 6 %の場合：DOE 3 %の還元
- ROE 6 %を超えた場合：配当性向50%の還元



注) 2017年10月1日をもって10株を1株に株式併合を実施いたしました。
 株式併合前についても株式併合後に合わせて表示しております。

中期経営方針 KPI

- 売上高は中期計画初年度にして、計画を上回るペースで進捗中。
- エネルギー・部材価格の構造的上昇や物流費高騰による収益構造の悪化に対して営業利益率の改善ペースが遅れており、価格改定及びコスト低減による収益構造改革推進中。
- 米国子会社の繰延税金資産 3 億 8 千万円計上によりROE6.3%を達成したものの、一過性の税効果会計上の利益であり、引続き収益構造改革を進める。
- 自己株式取得として、130,000株／340百万円 実施済

(単位：百万円)

	2021.3期 通期実績	2022.3期 通期実績	2023.3期 通期予想	2024.3期 目標	2026.3期 目標
売上高	21,624	26,599	29,300	26,500	30,000
営業利益	701	1,383	1,500	2,000	3,100
ROE (自己資本当期純利益率)	0.0%	6.3%	4.1%	5.5%	8.0%
自己株式取得 (2026.3期まで)	—	340	—	500 ～ 2,000 ^{※1}	

※1 2026.3期までの累積目標額です。

SAKAI

MASTERS OF COMPACTION

お問い合わせ

酒井重工業株式会社

I R 室 吉川 孝郎

メール sakai.ir@sakainet.co.jp

TEL 03-3434-3401

FAX 03-3436-6513

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。